



# 小栗キャップの News Letter

税理士法人STR 代表社員・税理士 小栗 悟

名古屋本部 〒450-0001 名古屋市中村区那古野 1-47-1 名古屋国際センタービル 17F

TEL : 052-526-8858 FAX : 052-526-8860

岐阜本部 〒500-8833 岐阜県岐阜市神田町 6-11-1 協和第二ビル 3・4 階

TEL : 058-264-8858 FAX : 058-264-8708

Email: [info@str-tax.jp](mailto:info@str-tax.jp) <http://www.str-tax.jp>

2023 年 5 月 26 日(金)

## 給与水準を引き上げた 中小企業は半数超え

### 給与引き上げ企業 3 年ぶりに半数を上回る

日本政策金融公庫は「中小企業の雇用・賃金に関する調査」結果を発表しました。13,266 社対象に回答は 5,473 社となっています。

2022 年 12 月の正社員の給与水準を見ると「上昇」と答えた企業割合は 53.1%、前年 41.1%から 12.0 ポイント上昇しました。

業種別では、情報通信業 (63.8%)、水運業 (58.5%)、建設業 (55.1%) 等が上昇の割合が高くなっています。23 年の見通しは「上昇」と回答した企業が 53.3%となっています。

正社員給与水準の引き上げの背景は「自社の業績が改善」と回答した企業割合が 27.2%と最も高く、次いで「物価の上昇」(19.4%)、「採用が困難」(18.4%)でした。

### 賃金総額でも「増加」が半数超え

22 年 12 月の賃金総額を見ると「増加」と回答した企業割合が 59.7%、「ほとんど変わらない」は 29.2%、「減少」は 11%となっています。「増加」の割合は 21 年実績 (49.3%) から 10.4 ポイント上昇しました。23 年見通しを見ると「増加」と回答した企業割合は 60.5%となっています。

賞与の支給月数を見ると「増加」と回答した企業割合は 31.3%、「変わらない」は

48.5%となっています。「増加」の割合は 21 年実績 (30.5%) から 8 ポイント上昇しています。業種別に見ると倉庫業 (43.8%)、宿泊・飲食サービス業 (37.7%)、卸売業 (34.9%) などで「増加」の割合が高くなっています。

### 2023 年版中小企業白書・小規模企業白書

別の調査を見てみると日本商工会議所の観測調査では、①中小企業の賃上げの動きは進みつつあるものの賃上げが難しい企業も一定程度存在する。②賃上げを促進する原資を確保する上でも、取引適正化などを通じた価格転嫁力の向上とともに生産性向上に向けた投資を行うことが重要である。

商工リサーチの「中小企業が直面する経営課題アンケート」では、①物価高騰により中小企業は収益減少の影響を受けている、②値上げだけでなく経費削減や業務効率化による収益力向上に取り組んでいる。

中小企業は賃上げ分を確保するために非常な努力を続けているということでしょう。



正社員が不足  
と答えている  
企業は 58.2%  
もあります